

開催日：平成 14 年 3 月 22 日

会議名：平成 14 年第 1 回定例会（第 5 号 3 月 22 日）

○（橋本順造議長） ほかにございませんか。

大伴雅章議員。

（大伴雅章議員登壇）

○（大伴雅章議員） 事前の通告が締め切りに間に合わなくて、議事を少し引き戻すようになって大変申しわけないのですが、第 29 号議案 平成 14 年度長岡京市一般会計予算につきまして、連合・市民の会を代表いたしまして、若干の意見を申し述べ、賛成討論といたします。

これまで、多くの議員の方からも意見も出ていますので、できるだけ重複を避けた、ごくごく簡潔な討論にしたいと思います。

まず、総論的に申し上げますと、経済情勢が混迷を続ける中、景気の先行きに明るさを見出せない状況下での予算編成を余儀なくされ、歳入の根幹である市税をはじめ、利子割交付金、地方交付金といった一般財源が前年度に比べて 10 億円以上の減収になるという、かつて経験したことのない厳しい状況の予算案としては、各所に限られた財源のより一層重点的、効率的な配分を行い、思い切った選択と創造の視点から各事業に割り振られたと、おおむね評価をいたします。

ただ、市長が常々おっしゃっておられる「聖域を設けない、前例踏襲主義に陥らない」ということについて、各委員会での質疑、応答の中でもあったように甘さもあり、今後の課題としていただきたく思うところであります。

また、行財政改革大綱実施計画に基づき一部公共施設使用料を見直され、受益者負担の適正化を図られました。その基準について一部あいまいなところもあり、今後、基準の明確化を図るとのことであり、速やかに明らかにされることを望むものでございます。

さらに、その設立目的に反し、増大する一部事務組合への分担金、負担金、それぞれ経過や事情の差はあるにしても、構造的に見直さなければならないもの、あるいは、もっと合理化できるもの、これらのことを速やかに御検討いただけるようお願いいたします。

最後に、西口再開発の件でございます。

私ども、連合・市民の会は、委員会あるいは総括質疑の中でも、一貫して冷静に商工会と話し合いを継続していただきたい旨を申し上げてきました。昨日の京都新聞の洛西版の見出しではないですが、「市の路線と溝、関係を懸念」、まさしくこのことを心配しております。私ども会派としては、十分でないにしても調査し聞き取りを行う中で、この議会中のさまざまな質疑、応答にあった市の見直し案の疑問点に答えられる対案だと認識しております。

完成後の経営計画すら明らかにされていない現段階の市の見直し案、今なら市の案を基

本にしてでも、さらに見直すことは可能ではないでしょうか。市長の高度な判断を心から  
願うものであります。

近い将来の長岡京市の市民の皆さんに、本当によくここまでよいものと評価される  
ものをつくることを心に念じ、賛成の討論といたします。